

## 疾患名

過粘稠度症候群

## 病気について

原発性マクログロブリン血症や多発性骨髄腫などの疾患を背景として、病的な免疫グロブリンが増加する疾患です。血液の粘り気が強く濃い状態になるため、血栓症が生じ、出血傾向、眼底出血、頭痛、めまい、聴力障害など様々な症状を呈する病態です。

## 治療について

異常な免疫グロブリンの除去のための血漿交換療法と背景となる原疾患の治療を同時に行います。

## アフェレシス療法の適用とその実施

保険適用：あり

アフェレシス療法の種類：血漿交換または二重濾過血漿分離交換

回数：1連につき週1回、3カ月を限度として行います。